

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援 芳泉		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援を利用している児童の保育園に訪問しているので、事業所での様子を踏まえたアドバイスができる	先生方に、次回までに取り組んでいただくことをお伝えし、次回訪問時に取り組んだことへの効果や改善策をお伝えしている	訪問と訪問の間に、児童のご様子やお電話でお困りごとはないか確認すると良いのではないかと
2	療育歴20年以上の訪問支援員が訪問している	他の園での取り組みなども参考に、児童に合った支援方法を提案するようにしている	他の訪問支援員とも連携を取り、意見をもらうようにすると更に行き渡るのではないかと
3	保護者と園の様子を共有しやすいため、先生方へ保護者の声を伝えることができています	児童発達支援をご利用の日の送迎に行き、保護者と直接会ってお話をする機会を設けるようにしている	園と児童発達支援だけでなく、保護者にも協力してもらえよう、さらに取り組みを深めていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援をご利用いただいている方からの要望にお応えできないケースがある	一般からの依頼に対応できるスタッフがいない	専門の訪問支援員が雇用できれば可能かもしれない
2	訪問支援員を増やしたいが、経験が浅いスタッフが多く、育成に至っていない	訪問支援員の育成の難しさ	療育経験5年以上のスタッフは、同行して覚えていく必要があるのではないかと
3	訪問件数が現状より増やせない	2人の訪問支援員で行っているため	専門の訪問支援員の雇用等で、幅を広げていけるといい